

は じ め に

本市は、鹿児島県の北西部に位置し、本土地域の中央部には熊本県の白髪岳を源流とする一級河川の川内川が貫流しています。平成17年11月には藺牟田池がラムサール条約湿地に登録され、平成27年3月には甑島国立公園が誕生しました。風光明媚かつ豊かな自然環境の中には、多様な生態系が構築されています。

こうした自然環境を脅かしてきたかつての産業型公害は、規制強化や人々の環境に対する意識の変化等によりある程度沈静化してきましたが、身近な事業活動や日常生活の多様化が、地球温暖化や生物多様性の損失といった地球環境問題へと広がりを見せています。

国際的には、「持続可能な開発目標（SDGs）」が平成27年（2015年）9月に国連で採択されました。環境・経済・社会に関わる17のゴールと169のターゲットで構成される世界が合意した国際目標で、同年12月に採択された地球温暖化対策としての「パリ協定」と両輪になって、世界を大きく変える道しるべとなっています。

本市では、平成28年3月に「自然と共生し快適に暮らせるまち 薩摩川内」を基本理念とする薩摩川内市環境基本計画（第2期）を策定しました。また、集中豪雨や竜巻、大型台風などによる甚大な被害が全国各地で発生していることから、災害廃棄物に係る対応への備えに万全を期すことが喫緊の課題となっています。

施設面では、平成28年12月に着手した川内クリーンセンターの基幹的設備改良工事が本年度完了します。他の環境関連施設も含めて、今後とも安全管理と有効的な活用に努めてまいります。

本書は、平成30年度における本市の環境の現況と施策の内容や実績等を取りまとめたものです。市民の皆様により一層のご理解をいただくとともに、市民・事業者・市が協働して環境の保全に向けた具体的な取組みを進めていくための一助となれば幸いです。

令和2年2月

薩摩川内市長 岩 切 秀 雄